

第22回 国立市これからの公共施設の在り方審議会 議事要旨(記録)

日時	令和6年1月12日(金)18:00~20:00
場所	国立市役所3階 第4会議室
出席委員 (五十音順)	(会長) 朝日ちさと 委員 羽川綾子 委員、島辻秀和 委員、柳田憲一 委員、福田研一 委員、熊谷豊 委員
欠席	喜連元昭 委員、桂耕史 委員、湯浅かさね 委員
説明員 (事務局)	宮崎政策経営部長、小宮資産活用担当課長
傍聴者	なし

○議題

1. パブリックコメントについて
2. 国立市公共施設等総合管理計画(改訂案)【答申素案】について

○配付資料

- ・資料 No.22-1 国立市公共施設等総合管理計画(改訂案)【答申素案】
- ・第21回審議会 議事要旨

議題1. パブリックコメントについて

□朝日会長

前回、年度内の会議回数について事務局より相談があったことについて、現在の審議状況を鑑みて、年度内の会議回数を本日含め、残り2回として実施することとしたい。

これを踏まえ、パブリックコメントを審議会として実施してはどうかと考えた。今回の改訂において目標値の見直しなどは行っていないものの、総務省の指針もあり、より実効性や具体性を高めた内容となるよう審議を重ねてきたことと、分かりやすさ、本計画の意図を伝えることに関する意見も多くあり、構成も見直した。

パブリックコメントを実施するにあたっては、改めて公共施設の現状とマネジメントの重要性を周知すること、その重要性が改訂する本計画できちんと伝わるかという読みやすさ、伝わりやすさという点についてご意見を募りたいと考えている、

なお、目標値など今回の改訂において見直しを行っていない内容に関するご意見を頂いた場合には、現計画を策定した際の審議会における審議内容を確認したり、パブリックコメントでの回答を参照したりする他、事務局において回答を対応していただくこととしたい。

事務局には、事前にパブリックコメントを実施するとした場合の概要を説明いただき、その後、パブリックコメントの実施可否について、委員の皆様からご意見を頂きたい。

■事務局

概要説明(実施日数、閲覧場所、スケジュール等)

パブリックコメントを実施するタイミングについて、審議会で審議される計画等の場合、審議会で答申前に実施いただく場合と、答申後、市が行政計画として決定する前に実施する、大きく分けて2パターンある。

本計画については、基本的には答申いただいた内容を尊重し、ですます調などの修正は行う程度でそのまま市の計画として決定していきたいと考えている。

答申いただく前の段階で、審議会としてパブリックコメントを実施されることは過去にも行われている。

□熊谷委員

市民の方から頂いた意見はどのように取り扱うのか。

■事務局

個別に回答を行うことはしない。頂いたご意見は事務局でまとめるが、第23回審議会において対応についてご審議いただくこととなる。

今回の改訂にあたって審議されていない内容などについては、過去の審議会記録等を参考にしながら、事務局からの回答としてまとめる形が考えられる。

□福田委員

個別回答しないという事は、1件1件に対して回答しないということか。

■事務局

頂いた方に対して、直接の回答は行わないということである。頂いたご意見に対しては、1件ごとに回答を行っていく。

□福田委員

その回答は、市のホームページ等で公表するという認識で良いか。

■事務局

その通りである。

□島辻委員

類似するような意見については、1件ずつに回答するのではなく、代表的意見に1つにとりまとめて回答する形か。

■事務局

類似する内容でも1件ずつ、ご質問等は一覧表に掲載する。ただし、回答としては「No.〇〇と同様の回答となります。」というような形で対応させていただくことが多い。

□朝日会長

実施することとして決定して良いか。

(委員異議なし)

意義無いものとして、審議会としてパブリックコメントを実施することとする。なお、開始時期については本日の会議内容を踏まえ事務局と相談し決めたい。

議題 2. 国立市公共施設等総合管理計画(改訂案)【答申素案】について

■事務局

資料 No.22-1 について概要説明

□福田委員

施設タイプのページにおいて、工事修繕履歴表に記載の番号が(1)施設概要とリンクしていることが分かり難いという前回会議での意見に対し、どの様に対応されたのか、対応検討中なのか確認したい。

■事務局

第6章施設タイプの最初に注意書きを加えた。

□福田委員

工事修繕履歴表の番号を無くした場合、影響はあるか。番号があることで分かり難くなっていないか。

■事務局

施設概要については表記が無くても問題ないが、工事修繕履歴表においては表を大きくして、工事件名等に施設名称を全て入れるか、施設名称の欄を設けるなどの対応が必要となることが考えられる。

□福田委員

現在の注意書き程度だとまだ分かり難さがあるので、もう少し事務局で検討いただきたい。

■事務局

分かりやすい表現を検討したい。

□羽川委員

能登半島地震が起きたが、そのような大規模災害に対する記述について検討すべきか。パブリックコメントを受けた場合には記載をしていく必要があるか。

□島辻委員

以前の会議でも総合防災計画との関係性を確認したと思う。防災に関して、総合防災計画レベルの内容については本計画では記述せず、大きな考え方のみに留めるものとする。

被災想定などの数値についても、総合防災計画や東京都の推計値などが引用元となり、そのような計画の見直して大幅に変わることがあることも前回会議で確認し、本計画では明示しないこととなった。

それぞれの計画の役割というものがあるので、パブリックコメントにおいて意見を頂いたという事だけで記述するのではなく、各計画においてその内容を精査して検討する必要があると思う。

■事務局

審議会として回答できない具体的施設に求める意見や、総合防災計画において記述されるような内容に関するご意見を頂いた場合は事務局において対応する。

本計画は公共施設マネジメントにおける総合的な計画であり、大きな方針を定めるものである。防災等に関する詳細な方針や検討は、担当課において専門性に沿って計画が策定されている。

□福田委員

P.137 に防災マップが追加されたが、このマップを掲載するように提案させていただいたが、この審議会の役割として、防災について細かな議論は行わないが、防災の視点も俯瞰しているという立ち位置であり、それを示すのが防災マップの掲載ということに繋がっていると思う。

□熊谷委員

市の計画が分かるようなもの、一覧表になっているようなものはあるのか。

■事務局

一覧表になっているようなものは無いと認識している。市のホームページでキーワード検索していただくような形になると思う。

□福田委員

P.2 に関連計画として表記したり、それぞれの計画の二次元コードを載せたりするなど検討できるのではないか。

■事務局

同レベルの関連計画を載せている計画もある。過去に公共施設マネジメントあるいは、公共施設に関する計画をまとめたことがあるが、A3 サイズでも見難くなるほど関係する計画があった。

そのようなこともあり関連計画は載せていないが、表記できるか検討を行う。

□福田委員

P.90 で第二小学校の学童保育所が工事中と表記されているが、本計画の計画期間がこの工事完了後まで続いているようであれば、工事完了年度を明記しておいた方が良いのではないか。

また、複合化されていく施設について、(2) 立地状況の図中で複合化されていく事が分かるように表記されていると良いのではないか。

■事務局

表現について見直したい。

□島辻委員

過去の時点における表現が残っているので、現在進行している事業などについて、進行中である事が分かる表現に見直した方が良い。併せて、誤植について全体的に整合性と再確認をお願いしたい。

□柳田委員

表記の仕方について、「学校教育施設」と「学校・教育施設」という2つの表記がされている。この中黒の点があるか無いかで意味合いが少し違ってくるように思う。

学校教育に関連した施設として、給食センターや総合教育センターが学校施設と併せて分類されていることを踏まえると、学校教育系施設という表記でも良いと思う。

本計画に関わらず、他の表記なども含めて再確認し、計画内では統一していただきたい。

■事務局

過去の計画において表記の仕方が異なっていた。ここで見直して表記を統一させたい。

□朝日会長

有形固定資産減価償却費率の表があるが、この数値はどこかで公表されているものか。

■事務局

P.123 に明示した資料および、二次元コードからアクセスしていただくと、更に細かい内容が確認できる。

総務省からは毎年度この表を更新するように求められており、事務的な負担が大きくなることを考え、総合管理計画では対象施設の代表的な項目を選択して表記している。

少し見難い部分もあるかと思うが、評価金額を載せた意図としては、改修などを行うと評価額が変わり連動して比率も変わる。単純に比率のみ掲載するとどの様になったのか不明瞭であることから、評価額を載せることとした。

□福田委員

公民連携について他の計画や基本方針で概念などを謳っているか。公共施設の歳入が施設使用料に限定されると施設利用数との比例にしかならないが、公民連携により収入が見込めるのであれば、公民連携の概念などがあると、より具体性があると思う。

■事務局

公民連携に関しては本計画に記載しているが、実際はそれぞれの事業レベルで実施できるものは取組んでいるという状況である。

□福田委員

国立市で具体的に取組んでいるもの、事例はあるか。公民連携を本計画で掲げながら、少し分かり難いように思う。審議会でも公民連携による収入確保がテーマになって議論されていたので、もう少し取り上げた方が良い。

□島辻委員

市役所1階の電光掲示板なども広告収入で設置されていると聞いた。そのような事例も含め、取組まれていることは多々あると思うので市の取り組み事例はあって良いと思う。

■事務局

過去の実績も踏まえ、対応を検討したい。

□福田委員

学校プールについて、費用対効果などを踏まえると学校施設におけるプールの在り方を検討する必要があると思う。今後、学校施設の建替えがされる場合、関係部局との連携が必要になるのではないかと。

■事務局

他自治体における民間プールの活用事例が多く聞かれるようになってきているが、国立市の教育委員会においても他市事例の調査研究に取り組んでいる。

・ 以上の他、誤植や表記方法について各委員より意見があり、事務局において全体的見直しを行う旨の回答をした。

□朝日会長

パブリックコメントの実施にあたっては本日の意見を踏まえ、その修正内容等を鑑みて事務局と相談のうえ決定したい。開始時期については、会長一任とさせていただいてよろしいか。

(委員異議なし)

以上